

宮城県の農林水産業の概要

特徴・取組

宮城県は東北地方の東南部に位置し、奥羽山脈（西部）、北上高地（北東部）、阿武隈（あぶくま）高地（南部）から流れ出る河川によってつくられた肥沃な仙台平野は、東北一の広がりを持つ豊かな穀倉地帯となっている。宮城県の森林は約42万haで県土の57%を占める。

また、宮城県沖合は親潮と黒潮がぶつかる生産性の高い海域であり、三陸沖漁場は世界3大漁場としても有名である。

気候は、東北地方としては比較的温暖で降雪が少ない。

県内の産業構造は、令和2年国勢調査就業状態等基本集計結果では、第一次産業が4.0%、第二次産業が22.3%、第三次産業が73.7%となっている。

県内総生産は、令和5年度宮城県民経済計算では、第一次産業が1.3%、第二次産業が21.4%、第三次産業が77.4%となっている。

農業では、「ひとめぼれ」「ササニシキ」「だて正夢」「金のいぶき」などのみやぎ米、いちごやパプリカなどの園芸作物の生産と販売拡大に取り組んでいる。

林業では、すぎやひのきなどが大きく育ち、利用の適期を迎えており、住宅や家具などさまざまな場面に利用されている。

水産業では、まぐろやかつおなど、多様な魚種が水揚げされるほか、ぎんざけやかきなどの養殖も盛んな全国屈指の水産県となっている。

農業では、宮城県が誇るブランド農産物の米「だて正夢」やいちご「にこにこベリー」、「仙台牛」をはじめとする「食材王国みやぎ」の自慢の品々を国内外に向けて発信していくとともに、競争力の高い園芸産地の確立や、先進技術の導入による農業生産の効率化と高度化を推進し、多様な人材が農業現場で活躍する、魅力ある農業の実現を目指している。

林業では、FSC（森林管理協議会）認証やCLT（直交集成板）建築の普及による新たな木材の需用の掘り起こし、県産材の利用拡大と再生林の取組等を推進している。また、県民参加型の森林づくり活動や森林病虫害防除対策を推進し、県民が森や木を身近に感じながら安心して暮らせる宮城の実現を目指している。

水産業では、暖水性魚種の利活用推進や、新たな養殖種の探索、陸上養殖技術の研究・普及などを進めるとともに、「みやぎ漁師カレッジ」による新規漁業就業者の確保・育成や、ICT等の導入による労働の省力化・効率化に加え、県産水産物の消費拡大・販路開拓を図り、環境と調和した持続可能で活力ある水産業の確立を目指している。

主な農林水産物

大豆

県の優良品種「ミヤギシロメ」は、大粒で外観品質に優れ、主に地場の大豆加工品に利用されている。（収穫量全国2位）



米

「ひとめぼれ」「ササニシキ」の主産地。環境に配慮した環境保全米等の生産にも取り組む。（収穫量全国6位）



いちご

「仙台いちご」のブランド名で親しまれ、特に亶理郡は栽培に適しており、東北のいちご王国と呼ばれる。（収穫量全国10位）



パプリカ

栗原市や石巻市を中心に栽培され、国内収穫量の2割を宮城県産が占めている。（収穫量全国1位）



せり

根まで食べる「せり鍋」が有名。「河北せり」は令和2年12月に、「仙台せり」は令和6年3月にGI登録された。（収穫量全国1位）



肉用牛

A5、B5に格付けされた肉のみ呼称できる「仙台牛」は、品質、風味とも高く評価されている。（飼養頭数全国8位）



まぐろ類

全国トップクラスの漁獲量を誇る県を代表する魚であり、その漁獲量は全国1位となっている。（漁獲量全国1位）



さめ類

気仙沼市が主産地であり、ヒレを原料とする高級食材「フカヒレ」は海外にも輸出されている。（漁獲量全国1位）



ぎんざけ(養殖)

志津川湾が養殖発祥の地。一部の養殖ぎんざけは「みやぎサーモン」としてGI登録されている。（収穫量全国1位）



かき類(養殖)

養殖は約300年前に松島湾で開始。生食用の流通が多く、また、養殖用種がかきは全国各地に出荷。（収穫量全国2位）



宮城県内の各地域における農林水産物

栗原（くりはら）地域

【農産物】 水稲、そらまめ、いちご、ズッキーニ、なばな、パプリカ、トマト、きゅうり、りんご
 【畜産物】 豚、採卵鶏、乳用牛、肉用牛
 【林産物】 生しいたけ、なめこ
 【水産物】 イワナ（養殖）

大崎（おおさき）地域

【農産物】 水稲、小麦、大豆、はくさい、なす、そらまめ、えだまめ、つるむらさき、なばな、トマト、ねぎ、りんご、日本なし、うめ
 【畜産物】 豚、ブロイラー、採卵鶏、乳用牛、肉用牛
 【林産物】 生しいたけ、なめこ、えのきたけ、ぶなしめじ

仙台地域

【農産物】 水稲、六条大麦、大豆、ばれいしょ、はくさい、こまつな、えだまめ、いちご、イチジク、せり、なばな、パプリカ、トマト、ねぎ、きゅうり、りんご、日本なし
 【林産物】 生しいたけ
 【水産物】 まぐろ類、かつお、ひらめ・かれい類、かき類（養殖）、わかめ類（養殖）、のり類（養殖）、イワナ（養殖）

気仙沼（けせんぬま） ・本吉（もとよし）地域

【農産物】 水稲、こまつな、えだまめ、いちご、なばな、トマト、ねぎ
 【林産物】 生しいたけ
 【水産物】 まぐろ類、かじき類、かつお、さめ類、さんま、ぎんざけ（養殖）、かき類（養殖）、わかめ類（養殖）、ほや類（養殖）

登米（とめ）地域

【農産物】 水稲、小麦、六条大麦、大豆、ばれいしょ、はくさい、そらまめ、えだまめ、いちご、パプリカ、トマト、きゅうり、りんご
 【畜産物】 豚、乳用牛、肉用牛
 【林産物】 生しいたけ

石巻（いしのまき）地域

【農産物】 水稲、小麦、六条大麦、大豆、ばれいしょ、はくさい、こまつな、えだまめ、いちご、せり、なばな、パプリカ、トマト、ねぎ、きゅうり
 【畜産物】 ブロイラー、肉用牛
 【水産物】 まぐろ類、かつお、さば類、さんま、ひらめ・かれい類、ぎんざけ（養殖）、かき類（養殖）、わかめ類（養殖）、のり類（養殖）、ほや類（養殖）

仙南（せんなん）地域

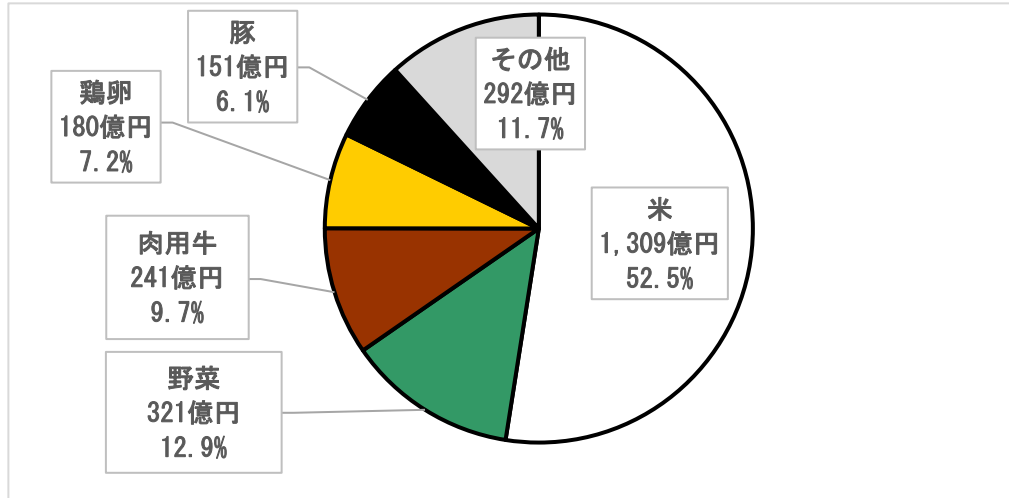
【農産物】 水稲、六条大麦、そらまめ、いちご、イチジク、つるむらさき、きゅうり、りんご、日本なし、かき、うめ
 【畜産物】 豚、ブロイラー、採卵鶏、乳用牛、肉用牛
 【林産物】 えのきたけ



宮 城 県 の 農 業 (1)

- ・ 農業産出額は2,494億円で全国17位。うち米が1,309億円 (52.5%)、野菜が321億円 (12.9%)、畜産が774億円 (31.0%)。
- ・ 農畜産物の生産状況は、せり、パプリカが全国1位、つるむらさき、大豆が2位、六条大麦、そらまめが5位、水稲が6位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分	年次	宮 城 県	全 国	全国順位
水稲	収穫量	R7 378,100 t	7,790,000 t	6
六条大麦	収穫量	R7 4,990 t	59,000 t	5 *
大豆	収穫量	R6 18,900 t	252,400 t	2 *
そらまめ	収穫量	R6 451 t	11,500 t	5
いちご	収穫量	R6 5,160 t	156,600 t	10
肉用牛	飼養頭数	R7 76,100 頭	2,595,000 頭	8
乳用牛	飼養頭数	R7 14,900 頭	1,293,000 頭	10
つるむらさき	収穫量	R4 149 t	789 t	2
せり	収穫量	R4 417 t	1,020 t	1
パプリカ	収穫量	R4 1,470 t	7,380 t	1

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「畜産統計」、「地域特産野菜生産状況」

農業産出額のデータ

区 分	宮城県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	2,494 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	17
米	1,309 億円 (52.5)	25,524 億円 (23.7)	7
麦類	4 億円	582 億円	14 *
雑穀	0 億円	87 億円	22
豆類	24 億円	621 億円	3
いも類	6 億円	2,565 億円	34
野菜	321 億円 (12.9)	25,510 億円 (23.7)	27
果実	25 億円 (1.0)	10,112 億円 (9.4)	43
花き	26 億円	3,423 億円	37
工芸農作物	0 億円	1,577 億円	43
その他作物	4 億円	583 億円	29 *
畜産	774 億円 (31.0)	36,654 億円 (34.0)	13
肉用牛	241 億円	7,861 億円	8
乳用牛	127 億円	10,035 億円	10
生乳	122 億円	8,937 億円	10
豚	151 億円	7,567 億円	14
鶏	254 億円	10,170 億円	17
鶏卵	180 億円	5,764 億円	15
ブロイラー	62 億円	4,259 億円	13 *
その他畜産物	1 億円	1,021 億円	31
加工農産物	1 億円	565 億円	26

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：() は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

宮 城 県 の 農 業 (2)

- ・耕地面積は12万3,900haで全国8位。うち田が10万1,700ha、畑が2万2,200ha。
- ・農業経営体数は2万3,826経営体で全国11位。うち法人経営体数が777経営体で17位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は5,312経営体で全国16位。うち法人数が743法人で13位。
- ・農業生産関連事業は、農家レストランの年間販売（売上）金額が9億円で全国18位、事業体数は40事業体で9位。

耕地面積

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
耕地面積	123,900 ha	4,272,000 ha	8
田	101,700 ha	2,319,000 ha	4
畑	22,200 ha	1,952,000 ha	20
普通畑	15,600 ha	1,118,000 ha	18
樹園地	992 ha	248,600 ha	44
牧草地	5,630 ha	585,900 ha	5
参考) 総土地面積	7,282.34 Km ²	377,979.74 Km ²	16

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、
「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	4,821 ha	256,667 ha	22

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
農業経営体数	23,826 経営体	836,054 経営体	11
法人経営体数	777 経営体	33,819 経営体	17
総農家数	33,768 戸	1,394,135 戸	17
販売農家数	22,616 戸	792,808 戸	11
参考) 世帯総数	982,523 世帯	55,830,154 世帯	14
集落営農数	777 集落営農	13,952 集落営農	2

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、
「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	81,126 ha	2,627,068 ha	7
集積率	65.5 %	61.5 %	10

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	25,795 人	1,036,228 人	18
男	17,355 人	659,332 人	16
女	8,440 人	376,896 人	20
65歳以上	19,289 人	721,311 人	15
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	74.8 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	5,312 経営体	212,136 経営体	16
法人数	743 法人	29,684 法人	13
参考) 人口総数	2,301,996 人	126,146,099 人	14

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	10,009 百万円	1,006,107 百万円	30
	事業体数	630 事業体	26,910 事業体	17
農産物直売所	総額	17,919 百万円	1,134,381 百万円	28
	事業体数	400 事業体	20,960 事業体	24
観光農園	総額	338 百万円	39,113 百万円	31 *
	農業経営体数	50 経営体	4,350 経営体	26
農家民宿	総額	12 百万円	4,933 百万円	35 *
	農業経営体数	10 経営体	770 経営体	20
農家レストラン	総額	938 百万円	39,900 百万円	18 *
	事業体数	40 事業体	1,390 事業体	9

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

宮 城 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は101.6億円で全国14位。うち木材生産が59.0億円、栽培きのご類生産が41.8億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国11位、あかまつ・くろまつが全国4位、なめこが6位、えのきたけ、ぶなしめじ、黒炭が7位。

林業産出額

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
林業産出額	101.6 億円	4,769.8 億円	14
木材生産	59.0 億円	2,369.4 億円	16
栽培きのご類生産	41.8 億円	2,322.7 億円	15

出典：「令和6年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
素材生産量	613 千m ³	19,763 千m ³	11
針葉樹	572 千m ³	18,398 千m ³	10
あかまつ・くろまつ	39 千m ³	459 千m ³	4
からまつ	6 千m ³	1,733 千m ³	12
広葉樹	41 千m ³	1,365 千m ³	9
なめこ	生産量 1,154 t	23,874 t	6 *
えのきたけ	生産量 1,218 t	120,678 t	7 *
ぶなしめじ	生産量 2,988 t	117,536 t	7 *
黒炭	生産量 47 t	3,301 t	7 *

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
林野面積	406,904 ha	24,744,214 ha	23
国有林	121,773 ha	7,117,059 ha	14
民有林	285,131 ha	17,627,155 ha	26
人工林面積	191,063 ha	10,059,386 ha	21

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
製材工場数	70 工場	3,547 工場	26
製材用素材の入荷があった工場数	70 工場	3,492 工場	24
国産材のみ	56 工場	3,013 工場	25
国産材と輸入材	14 工場	386 工場	9

出典：「令和6年木材統計」

林業経営体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
林業経営体数	373 経営体	23,300 経営体	24
法人経営体数	67 経営体	3,813 経営体	22

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

宮 城 県 の 水 産 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は843億円で全国4位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のめばち、さめ類が全国1位、海面養殖業のぎんざけが1位、かき類が2位、内水面漁業のしじみが7位。
- ・ 漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が2億円で全国8位、漁業経営体数は20経営体で8位。

漁業産出額

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	843 億円	14,785 億円	4
海 面 漁 業	578 億円	8,894 億円	3 *
海 面 養 殖 業	264 億円	5,891 億円	10 *

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,129 経営体	65,662 経営体	12
内水面漁業経営体数	27 経営体	4,076 経営体	35

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	5,242 人	121,389 人	4
男	4,726 人	109,757 人	4
女	516 人	11,632 人	9

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
漁船隻数	5,004 隻	109,284 隻	5
動力漁船	1,447 隻	58,907 隻	16

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	227,330 t	3,589,121 t	3 *
海面漁業漁獲量	164,547 t	2,786,195 t	4
めばち	5,676 t	29,021 t	1 *
さめ類	9,390 t	20,608 t	1
海面養殖業収穫量	62,783 t	802,927 t	4 *
ぎんざけ	13,042 t	16,673 t	1 *
かき類	15,190 t	148,149 t	2 *
内水面漁業・養殖業生産量	330 t	47,046 t	19 *
内水面漁業漁獲量	88 t	17,915 t	16
しじみ	66 t	9,462 t	7
内水面養殖業収穫量	242 t	29,131 t	18
にじます	153 t	5,202 t	11

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	3,428 百万円	193,147 百万円	13
	事業体数	30 事業体	1,160 事業体	9
水産物直売所	総額	428 百万円	34,259 百万円	25 *
	事業体数	30 事業体	780 事業体	9
漁家民宿	総額	221 百万円	5,440 百万円	8 *
	漁業経営体数	20 経営体	540 経営体	8
漁家レストラン	総額	47 百万円	13,511 百万円	31 *
	事業体数	10 事業体	380 事業体	8

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

宮城県の農林水産業の話題等

「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」の中間見直し

宮城県は、令和3年3月に策定した「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」について、社会情勢の変化や県の条例改正等を踏まえ、令和7年度に中間見直しを実施した。

見直し後の計画では、主要目標として、農業産出額を令和12年までに2,300億円、食品製造業の製造品出荷額を7,600億円とすることなどを掲げている。

施策面では、「環境との調和に配慮した持続可能な農業の推進」や「野生鳥獣による農作物被害対策の強化とジビエ利活用の拡大」を新設するなど、全15施策として整理しており、市場ニーズの変化に対応したバリューチェーンの構築による県産食品の販売力強化やスマート農業の普及による生産性向上、関係人口と共に創る活力ある農村づくりなどに取り組むこととしている。

県はこの計画を通じ、生産者や消費者をはじめ食と農に関わる全ての人材が結びつき活躍することにより、みやぎの「豊かな食」「儲ける農業」「活力ある農村」を実現することを目指している。

「入谷の里山活性化協議会」が天皇杯を受賞

南三陸町の「入谷の里山活性化協議会」は、令和7年度（第64回）農林水産祭のむらづくり部門において、宮城県内で初となる最高賞「天皇杯」を受賞した。

同協議会は、東日本大震災の際、復興支援の拠点としての役割を経て、地域の伝統や資源を次世代へ繋ぐべく令和3年に設立された。構成員として、入谷地区の「食・体験・宿泊」を担うことができる各種施設の団体が加盟しており、「南三陸まなびの里いりやど」を中核（事務局）に、「校舎の宿さんさん館」「ひころの里コンソーシアム」「南三陸YES工房」「南三陸農工房」「入谷サン直売所」の6団体を中心に、地域を支える重要な役割を担っている。

現在は、地域に根ざした文化や伝統的な生業の継承を目的として、若者や移住者が主体的に関わる地域おこしや、地域資源を活かした多彩な活動を行っており、新ブランド「しおかぜ葡萄」の創出や、南三陸町観光協会と連携して「海と山の繋がり」を伝えるツアーの実施など、住民・地域・行政が一体となった持続可能なむらづくりを推進している。

スマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画の認定

スマート農業技術活用促進法では、スマート農業技術の活用及び農産物の新たな生産の方式の導入に関する計画（生産方式革新実施計画）を農林水産大臣が認定し、認定を受けた事業者は、金融等の支援措置を受けることができる。

宮城県では、令和7年度において、株式会社美田園ファーム（以下「美田園ファーム」）、株式会社めぐいと（以下「めぐいと」）、株式会社今野農業土木（以下「今野農業土木」）、農事組合法人KAMI X（以下「KAMI X」）が認定を受けた。

4社は共通して水稻を対象品目として、自動操舵トラクタを導入しつつ、美田園ファーム・めぐいと・KAMI Xは乾田直播への移行・拡大、今野農業土木は畦畔除去による圃場の大区画化による労働生産性向上を計画した。めぐいとはこれに加え、ばれいしょについて、栽培管理システムから得られたデータを地域内の農業者と共有、比較しながら次年度の栽培管理の改善に取り組むこととしている。



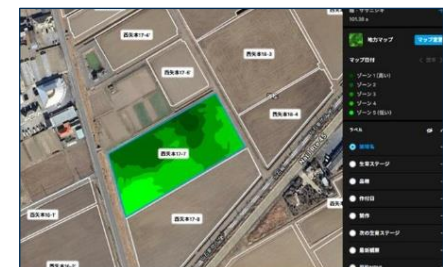
入谷地区



入谷地区を守って盛り上げていく
秘密結社「阿部ンジャース」



自動操舵トラクタ



栽培管理システム